

「デバイスに重要なセキュリティ修正プログラムと品質修正プログラムがありません」のエラーメッセージは、WindowsUpdateに必要なプログラムが一部欠損していることを示しています。

このエラーメッセージが WindowsUpdate に表示される場合、主に次のような原因が考えられます。

- ・ WindowsUpdate に一時的な問題が起きている
- ・ 最新の SSU(サービススタック更新プログラム)がインストールされていない
- ・ Windows Update の関連ファイルに問題が起きている
- ・ サードパーティのアプリケーション、ドライバーに問題が起きている
- ・ App Readiness サービスが停止している
- ・ Windows10 のシステムが破損している

古いバージョンの Windows10 では特別な対処が必要でしたが、新しいバージョンの Windows10 では簡単に対処できるようになっています。

上記の原因毎の対処法を紹介するので、WindowsUpdate が正常に実行できないか順番に試してください。

対処 1: エラーを無視して WindowsUpdate を実行する

「デバイスに重要なセキュリティ修正プログラムと品質修正プログラムがありません」のエラーが出ている状態でも、WindowsUpdate をそのまま実行することで問題が解決する可能性があります。

そのため、次の手順で WindowsUpdate を確認してダウンロードや再起動を実行できる場合は、そのまま実行してください。

- ①「Windows マーク」を右クリックして「設定」を選択します。
- ②「更新とセキュリティ」をクリックします。
- ③右ペインに「ダウンロード」、もしくは「再起動」のボタンが表示されている場合はクリックしてください。

・「ダウンロード」を押した場合は、更新プログラムがダウンロード完了後に表示される「再起動」ボタンを押してください。

- ④ WindowsUpdate が実行できた場合は完了するのを待ちます。

PC が再起動したら、再度 WindowsUpdate を確認して「セキュリティ修正プログラムと品質修正プログラムがありません」のエラーが消えたことを確認してください。

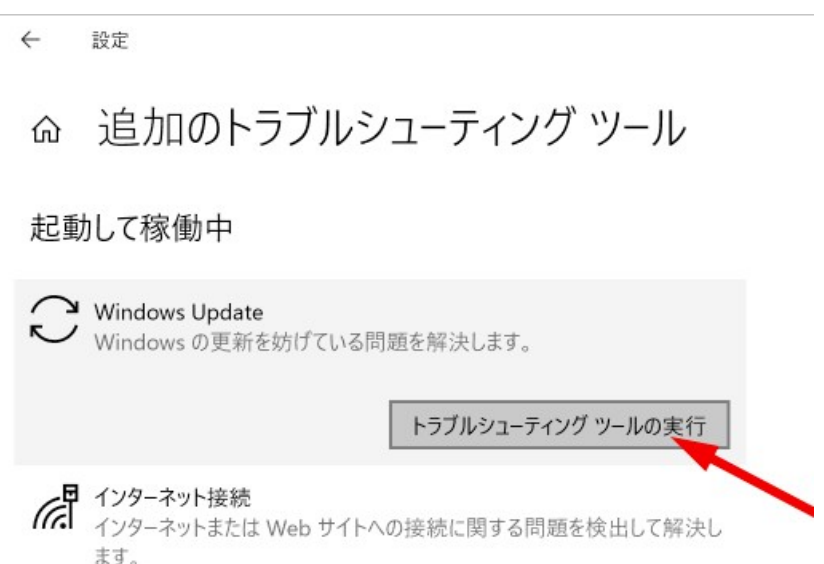
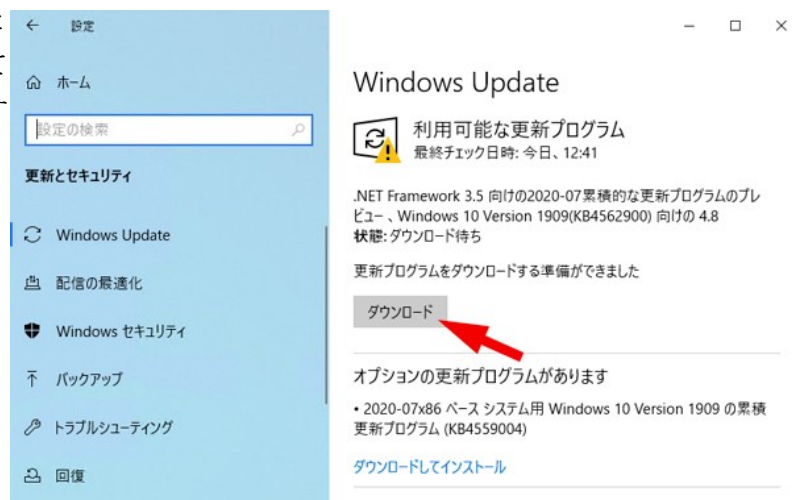
「ダウンロード」や「再起動」のボタンが表示されない場合は、次の対処方法に進んでください。

対処 2: Windows Update のトラブルシューティングツールを実行する

Windows に標準搭載されているトラブルシューティングツールを実行することで、Windows Update 関連のトラブルを解決できる可能性があります。

そのため、Windows Update のトラブルシューティングツールを一度実行してみることをおすすめします。手順は次のとおりです。

- ①「Windows」マークを右クリックして「設定」を開きます。
- ② Windows の設定で「更新とセキュリティ」をクリックします。



③左ペインから「トラブルシューティング」を選択します。

④右ペインの一覧から「Windows Update」をクリックします。

・一覧にない場合は「追加のトラブルシューティングツール」をクリックしてください。

⑤「トラブルシューティングツールの実行」をクリックします。

⑥問題が自動的に検出されます。問題が見つかった場合は、案内に従って修正を試みてください。

トラブルシューティングが完了して問題を修正ができた場合は、Windows Update を再度実行してみてください。エラーが修正されない場合や、問題が見つからない場合は次の対処に進んでください。

対処3: 最新の SSU をインストールする



タイトル	製品	分類	最終更新日時	バージョン	サイズ	
2020-08x64 ベース システム用 Windows 10 Version 20H2 サービス スタック更新プログラム (KB4570334)	Windows 10, version 20H2 and later	セキュリティ関連の修正プログラム	2020/08/10	N/A	14.5 MB	ダウンロード
2020-08ARM64 ベース システム用 Windows 10 Version 20H2 サービス スタック更新プログラム (KB4570334)	Windows 10, version 20H2 and later	セキュリティ関連の修正プログラム	2020/08/10	N/A	13.5 MB	ダウンロード
2020-08x86 ベース システム用 Windows 10 Version 20H2 サービス スタック更新プログラム (KB4570334)	Windows 10, version 20H2 and later	セキュリティ関連の修正プログラム	2020/08/10	N/A	6.7 MB	ダウンロード
2020-08x64 ベース システム用 Windows Server, version 20H2 サービス スタック更新プログラム (KB4570334)	Windows Server, version 20H2 and later	セキュリティ関連の修正プログラム	2020/08/10	N/A	14.5 MB	ダウンロード
2020-08ARM64 ベース システム用 Windows Server, version 20H2 サービス スタック更新プログラム (KB4570334)	Windows Server, version 20H2 and later	セキュリティ関連の修正プログラム	2020/08/10	N/A	13.5 MB	ダウンロード

インストールされている SSU(サービススタック更新プログラム)が古いことが原因で、「セキュリティ修正プログラムと品質修正プログラムがありません」のエラーが表示されるケースがあります。

そのため、次の手順で最新の SSU をインストールしてから、再度 WindowsUpdate を実行してみてください。

①『[最新のサービス スタック更新プログラム](#)』のページにアクセスします。

②ソフトウェアの更新の一覧で、Windows10 のバージョンとビット数と一致する製品名の「Servicing Stack Update」をクリックします。

③ MicrosoftUpdate カatalog のページで、Windows10 のビット数に対応する更新プログラムの「ダウンロード」をクリックします。

④更新プログラムのダウンロードページが表示されたら、「URL」をクリックしてダウンロードします。

⑤ダウンロードしたプログラムを実行して最新の SSU にインストールをインストールします。

⑥インストールが完了したら PC を再起動してください。

関連: [最新の SSU\(サービススタック更新プログラム\)のインストール方法 - Windows10](#)

最新の SSU をインストールして PC が再起動できたら、再度 WindowsUpdate を試してエラーが解決したか確認してください。

対処4: Windows Update コンポーネントをリセットする

Windows Update 関連の一時ファイルに問題が起きていることが原因で、「セキュリティ修正プログラムと品質修正プログラムがありません」のエラーが発生するケースがあります。

そのため、一時ファイルを全て削除してリセットすることで、エラーが解決する可能性があります。Windows Update の一時ファイルは、SoftwareDistribution フォルダに保存されています。

次のいずれかの方法でフォルダ内のファイルを削除して Windows Update をリセットしてみてください。

方法1: スクリプトファイルでリセットする

削除用のスクリプトファイルを実行することで簡単に Windows Update をリセットすることができます。
スクリプトファイルを利用して Windows Update をリセットするには、次の手順で操作します。

- ①『[WindowsUpdate リセット用のスクリプトファイル](#)』をダウンロードします。
 - ②ダウンロードした「WindowsUpdateReset.bat」を右クリックして「管理者として実行」を選択します。
 - ③ユーザーアカウント制御が表示されたら「はい」をクリックします。
 - ④適当なキーを入力するとリセットが開始します。
 - ⑤「Task completed sucessfully!」と表示されたら完了です。適当なキーの入力でコマンドラインが閉じます。
- 上記のスクリプトファイルは、Windows Update 関連のサービスを停止した後に SoftwareDistribution フォルダをリネームし、BITS ジョブタスクを削除した後にサービスを再起動します。

方法2: コマンドでリセットする

上記のスクリプトファイルの内容のコマンドを手動で入力してリセットすることもできます。
手動でコマンドを入力して Windows Update をリセットするには、次の手順で操作します。

- ①「Windows マーク」を右クリックして「Windows PowerShell（管理者）」を起動します。
- ②次のコマンドを一行ずつ入力して Enter キーで順番に実行します。

```
net stop usosvc
net stop dosvc
net stop wuauserv
net stop bits
move %SystemRoot%\SoftwareDistribution %SystemRoot%\SoftwareDistribution.old
del %ALLUSERSPROFILE%\Microsoft\Network\Downloader\qmgr0.dat
del %ALLUSERSPROFILE%\Microsoft\Network\Downloader\qmgr1.dat
net start bits
net start wuauserv
net start dosvc
net start usosvc
%SystemRoot%\system32\usoclient.exe StartScan
```

- ③全てのコマンドを実行し終わったら完了です。

スクリプトファイル、もしくはコマンドで WindowsUpdate がリセットできたら、念のため PC を再起動してから WindowsUpdate を実行してみてください。

対処5: セーフモードで WindowsUpdate を実行する

PC にインストールしているサードパーティのアプリケーションが原因で、「セキュリティ修正プログラムと品質修正プログラムがありません」のエラーが発生するケースがあります。

そのため、PC をセーフモードで起動してから WindowsUpdate 実行することで正常に更新プログラムをインストールできる可能性があります。

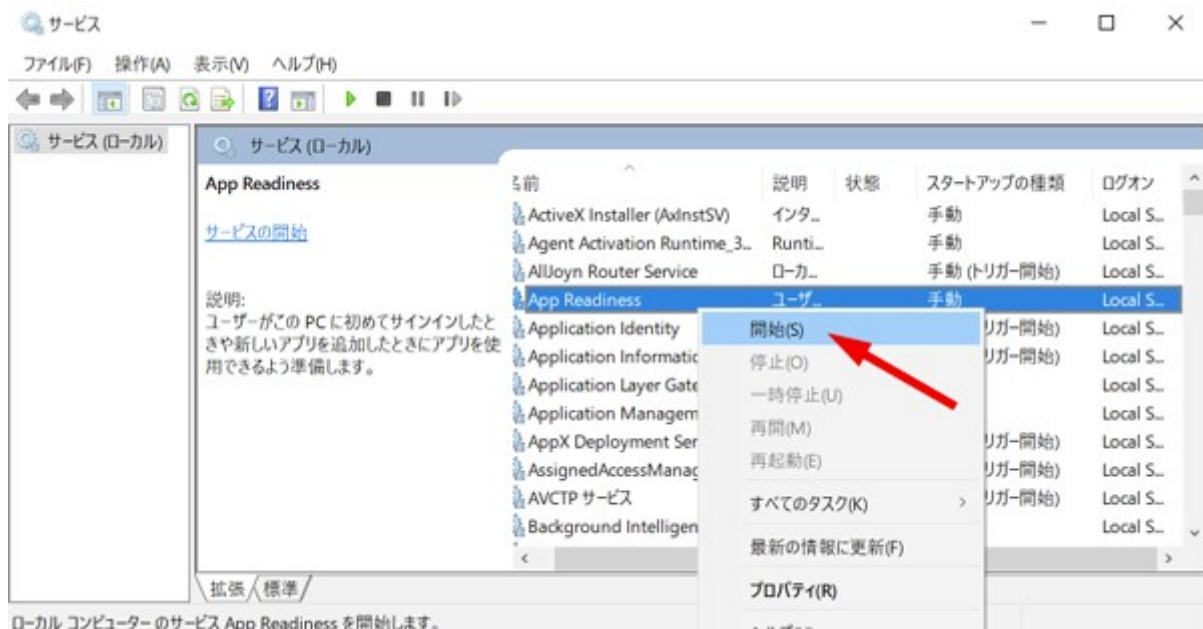
次の手順で Windows 10 をセーフモードで起動してから、Windows Update の実行を試してみてください。

- ①「Windows マーク」→「電源マーク」の順にクリックします。
- ②「Shift」キーを押しながら「再起動」をクリックします。
- ③オプションの選択画面で「トラブルシューティング」をクリックします。
- ④「詳細オプション」→「スタートアップ設定」→「再起動」の順にクリックします。
- ⑤スタートアップ設定が開いたら、「セーフモードとネットワークを有効にする」を「F5」キーで選択します。
- ⑥Windows10 がセーフモードで起動します。
- ⑦セーフモードで起動したら、Windows の設定から Windows Update を実行してみてください。

関連：[Windows10 - セーフモード\(セーフブート\)の起動・解除方法【復元も】](#)

正常にインストールできる場合は、再発しないかしばらく様子を見ましょう。セーフモードでも同様のエラーが出る場合は、次の対処方法に進んでください。

対処6: App Readiness サービスを開始する



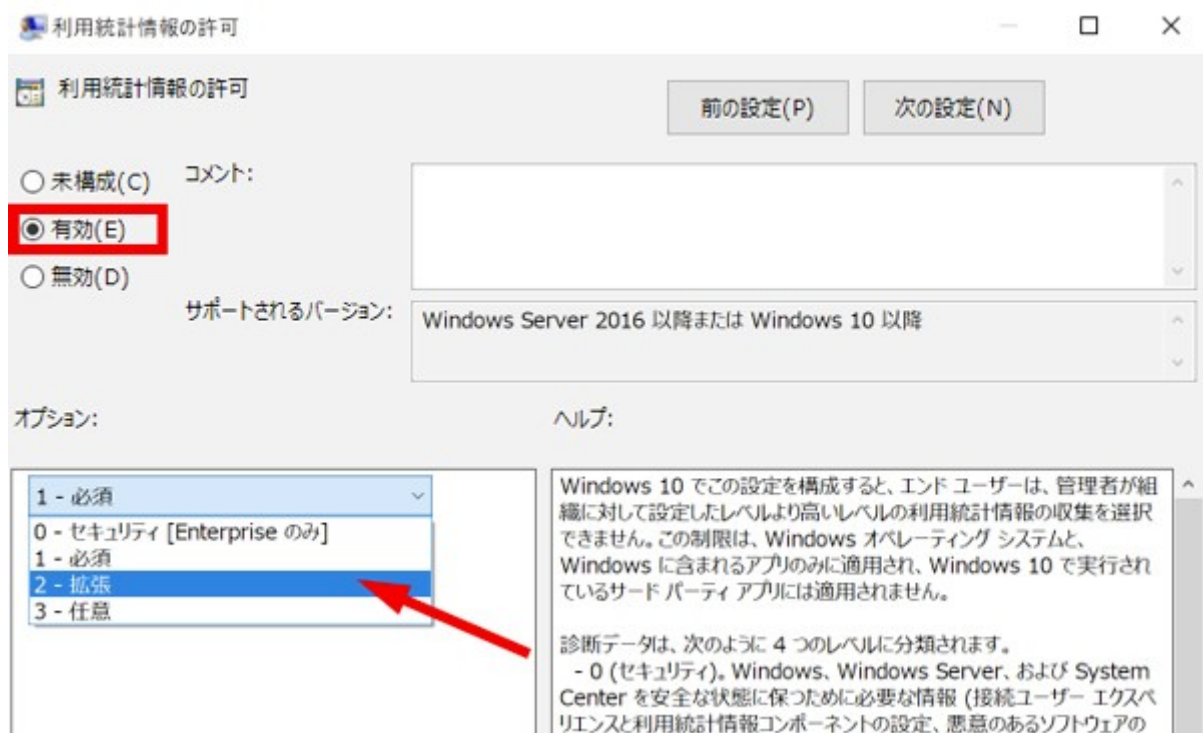
App Readiness のサービスが停止していることが原因で、Windows Update 実行時にエラーが発生することがあります。

そのため、次の手順に従って App Readiness サービスを手動で開始してください。

- ①「Windows」マークを右クリックして「ファイル名を指定して実行」を起動します。
- ②「services.msc」と入力して Enter キーを押します。
- ③右ペインのサービス一覧で「App Readiness」を探して右クリックして「開始」をクリックします。
- ④「状態」欄が実行中になったことを確認したら完了です。

App Readiness が実行中になったら、Windows Update を実行してエラーが出ないか確認してください。

対処 7: 利用統計情報の許可設定を変更する



グループポリシーの利用統計情報の許可設定を変更することで、WindowsUpdate のエラーが解決して正常に実行できる可能性があります。

そのため、次の手順でグループポリシーの利用統計情報の許可設定を変更してみてください。

- ①「Windows マーク」を右クリックして「ファイル名を指定して実行」を選択します。
- ②「gpedit.msc」と入力して「OK」をクリックします。

③グループポリシーエディターが起動します。

④左ペインのツリーを「コンピュータの構成」→「管理用テンプレート」→「Windows コンポーネント」の順に展開して、「データの収集とプレビュービルド」を選択します。

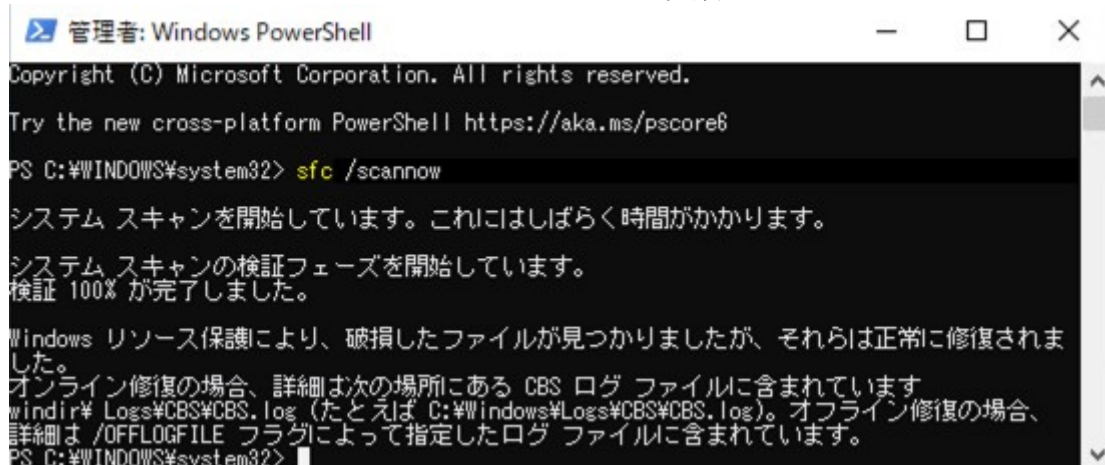
⑤右ペインで「利用統計情報の許可」をダブルクリックします。

⑥「有効」に変更して「2-拡張」のオプションを選択して「OK」をクリックします。

⑦PCを再起動してポリシーの設定を反映します。

PCが再起動したら、再度 WindowsUpdate を実行してエラーが解決したことを確認してください。

対処 8: DISM コマンドとシステムファイルチェッカーを実行する



Windows10 のシステムファイルが破損していることが原因で、「セキュリティ修正プログラムと品質修正プログラムがありません」のエラーが発生しているケースが考えられます。

そのため、DISM コマンドとシステムファイルチェッカーによるシステムファイルの修復を試してください。

①「Windows マーク」を右クリックして「Windows PowerShell (管理者)」を起動します。

②次のコマンドを実行します。

`DISM.exe /Online /Cleanup-image /Restorehealth`

③プロセスが完了したら、続けて次のコマンドを実行します。

`sfc /scannow`

④正常に終了したら修復完了です。

関連：[Windows10 の破損したシステムファイルを修復する方法【できない場合も】](#)

修復が完了したら、一度 PC を再起動してから Windows Update を実行してみてください。システムファイルの破損が原因である場合は、正常に更新プログラムをインストールできるようになります。

対処 9: 最新版の Windows10 を上書きインストールする



ここまでの対処方法で「セキュリティ修正プログラムと品質修正プログラムがありません」のエラーが解決しない場合は、Windows10 に修復できないシステムトラブルが発生していることが考えられます。

特にかなり古いバージョンの Windows10 で WindowsUpdate を行うとこのエラーが発生することがあります。通常は Windows Update 経由で最新版をインストールできますが、エラーが解決しない場合は、最新版の Windows10 を上書きインストールすることを検討してください。

最新版の Windows10 を上書きインストールするには、次の手順で操作します。

- ①『[Windows 10 のダウンロードページ](#)』にアクセスします。
- ②上部にある「ツールを今すぐダウンロード」をクリックして「MediaCreationTool」をダウンロードします。
- ③ダウンロードした「MediaCreationTool.exe」ファイルをダブルクリックして起動します。
- ④Windows 10 のセットアップの準備画面が表示されるので、しばらく待ちます。
- ⑤「この PC を今すぐアップでグレードする」を選択して「次へ」をクリックします。
- ⑥ライセンス条項が表示されたら「同意する」をクリックします。
- ⑦「インストールの準備が整いました」の画面が表示されたら、「個人ファイルとアプリを引き継ぐ」の項目が表示されているか確認します。
 - ・上記のオプションが表示されていない場合は、「引き継ぐものを選択」をクリックして「個人用ファイルとアプリを引き継ぐ」を選択してください。
 - ・「個人ファイルとアプリを引き継ぐ」を選択しないと、PC のアプリケーションとデータが全て消えてしまうため注意してください。
- ⑧オプションを確認できたら「インストール」をクリックします。
- ⑨上書きインストールが実行されます。完了するまで待ちます。

Windows10 の上書きインストールが完了したら、再度 Windows Update を実行してエラーが解決したか確認してください。